

ジョグトリ新聞

発行責任者
(社)ジョグトリップ
理事長 網本裕之

麦茶冷え冷え大作戦

なかなかうまくはいきません

登場人物

・保温ポット

・麦茶

・製氷皿

・製氷カップ

ご存知の通り、ジョグトリップのオアシスは無人が原則です。クーラーボックスに食べ物と飲み物を入れてます。そのため温かいものが提供できてませんでした。

「寒いときに温かいものが欲しい」という声にお応えして、2016年の佐世保フルから保温ポットにアツアツ麦茶を入れてオアシスに設置して、好評を得ておりました。

それから二冬を越し今年の夏を迎えまし

て、また声が上がりました。「暑いときに冷たいものが欲しい」もちろんクーラーボックスには保冷剤を入れてはあるんですが、冷やすには限度があります。なのでそんな声が上がるとも当然です。

そこで冷水岳から、冬場だけ登場していた保温ポットに夏場も出まし願うことにしました。今度はヒエヒエ麦茶を飲んでもらおうという算段です。

さて、ヒエヒエにするには氷が必要ということ、プラスチック製の製氷皿(大)とアルミ製の製氷カップ(特大)をナ〇コを買

ってきました。そして、冷凍庫を使って、製氷皿にはミネラルウォーターを、製氷カップには麦茶をそれぞれ凍らせました。

さて冷水岳出勤直前です。製氷皿から氷水をバラバラと保温ポットに投入しました。そして、次に製氷カップから麦茶氷を投入しようとしたところ、凍った麦茶がカップから取れない!

うゝむ、と約10秒考えて(だつて早くしないと溶けちゃう)、今回は製氷カップの麦茶氷は諦めて、製氷皿の氷水だけで冷やすことにしました。

点は2箇所だけなので、それぞれの保温ポットにたっぷり氷水を投入できまして、参加者の方からも「ちよつと薄めかな」の声はあったものの、喜んでいただけました。

さて、次はダイゴ松浦です。

前回の教訓から、製氷皿を買って増しして直接麦茶を凍らせる作戦を取ることにしました。(ちなみに製氷カップには前回使わなかった麦茶が凍ったまま冷凍庫に鎮座しておりました。)

今回は完璧のはずです。ダイゴ松浦出勤直前に、製氷皿から麦茶氷をバラバラと保温ポットに投入!かと思いきや、これがただの水と違ってなかなか製氷皿から離れてくれません。力づくで皿をヒネるとプラスチックが割れてしまうほどです。ようやく分離させても、あちこち砕けてキチツと氷塊になってません。

これは困った。どうしよう。そこで、目にしたのは麦茶が凍ったまま鎮座している製氷カップ。

麦茶だけは取り出せないけど、この凍らせたカップのまま保温ポットに入れればいいんじゃないの?

ということで、製氷皿製の砕けた麦茶氷と製氷カップ入麦茶氷塊を8つの保温ポットに入れ分けて、そこに麦茶を4Lずつ注ぎ足して、参加者にお出ししました。

ゴール後お訊きする

完走状写真が小顔足長に?

6月から、私の親戚でもあり同級生でもあるスエコさんにジョグトリップを手伝ってもらっています。最近はお写真も撮ってもらっています。

で、完走状を作成するのに写真を見て気づきました。彼女が撮影した写真は、空が広い!

と、よく冷えているポットとあまり冷えていないポットがあったとのこと。たぶん、製氷カップ入麦茶氷塊を多く入れた方が冷えていたんだと思います。またまた教訓を得ましたよ!

製氷皿は破棄処分することにして、さっそく製氷カップをさらに買い増して、次回に備えておきます。

試行錯誤といいますが、要領を得ないといえますか、たかが氷ですが、なかなか思い通りにはいかないものです。

さらに見ると、彼女が撮った方が小顔足長に写ってる!

考えてみるとそれも当然で、彼女は私より20cm身長が低く、そのためよりローアングルになり、空広く小顔足長に写るんですね。カメラマンの地位も

彼女に奪われそうなので、空が広い!